



2019年7月12日

各位

会社名株式会社 識学
代表者氏名 代表取締役社長 安藤広大
(コード番号 7049 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営推進部長 池浦良祐
(TEL : 03-6821-7560)

連結決算開始に伴う連結業績予想の公表及び 個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月期第2四半期より、連結決算に移行いたしますので、2020年2月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

また、2019年4月12日において公表いたしました2020年2月期(2019年3月1日～2020年2月29日)の通期個別業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結決算開始に伴う連結業績予想の公表について

① 連結決算開始について

当社は、2019年6月28日付「子会社の設立に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、株式会社シキラボを設立いたします。これに伴い、2020年2月期第2四半期決算より連結決算に移行いたします。

② 2020年2月期通期連結業績予想数値(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 1,755	百万円 336	百万円 280	百万円 278	百万円 193	円 銭 25.88

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+敷金償却

③ 通期連結業績予想の概要

上記連結業績予想は、連結対象となる株式会社シキラボの業績見込みを織り込んだ数値であります。

2. 通期個別業績予想の修正について

① 2020年2月期通期個別業績予想数値（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,655	百万円 303	百万円 280	百万円 279	百万円 193	円 銭 25.97
今回発表予想(B)	1,751	340	284	287	199	26.76
増減額(B-A)	96	36	4	8	5	—
増減率(%)	5.8	12.1	1.7	3.0	3.0	—
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	1,251	253	247	233	162	24.68

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+敷金償却

2. 参考情報として、前回発表予想及び前期実績のEBITDAを開示しております。

3. 個別業績予想の修正理由について

2020年2月期第1四半期におきまして、東京証券取引所マザーズへの上場や積極的なマーケティング活動による認知度の向上及び積極的な講師の採用・育成に注力をした結果、組織コンサルティングサービス事業及びそれに付随するプラットフォームサービスに関する受注が順調に推移いたしました。また、2019年6月にTIGALA株式会社より譲り受けたM&A法人コンサルティングサービス（「本サービス」という。）については、既存の契約企業様等からの引き合いも多く、既存サービスと同様に高い成長が見込まれるサービスであります。そのため、本サービスに関する契約企業の獲得による早期のサービス規模拡大を目的としたマーケティング活動を積極的に実施する事及び本サービスの譲受けに伴い発生したのれんの償却費用が発生することから、2020年2月期通期の売上及び費用の精査を実施いたしました。

その結果として、2020年2月期通期の個別業績予想を、売上高1,751百万円（従来予想比5.8%増）、EBITDA340百万円（従来予想比12.1%増）、経常利益287百万円（従来予想比3.0%増）、当期純利益199百万円（従来予想比3.0%増）に修正いたします。

なお、当社は今後も既存事業以外での識学利用を進めていくために、M&A領域へと積極的に進出してまいります。M&Aは初期投資を必要とする事業であり、のれん償却費等の償却費の費用に占める割合が大きくなる傾向にあります。そのため一過性の償却負担に過度に左右されることなく、EBITDAの成長を通じて持続的に企業価値を向上させることを目指すためにEBITDAを重要指標として設定し、今後もEBITDAを開示してまいります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。